文化祭の回想

一昨年11月の第23回『文化祭』開催にて文化的行事として評価を得ていたが諸事情により閉幕となりました。ここ数年は作品出展者が減少した事が大きな要因ですが、図書館分館ギャラリーの管理責任者によると、どこの文化団体に於いても同様であり、開催を断念をするケースが多いようです。

初めての開催（2002年）は、グリーン友の会と共催で『パルティール富士平安閣』・『市民会館・ロゼシアター』・『市立図書館』と開催場所が変わりました。展示作品は分野を問わず、特にグリーン友の会』のエコクラフト作品と《実演コーナー》が好評でした。又、富士宮地区との合同開催もありました。来場者は、概ね150～200名でした。富士ニュース（社）の紹介記事の掲載も影響があったと思います。

開催内容も《福引き》や《会員粗品進呈》等を工夫をしました。作品減少の頃は会員の知人作品を応援展示する等、苦労したことも多々あり多くの方のご協力を戴きました。

大変ありがとうございました。

第23回・2024年度・共済会だよりと歩こう会の記録

第21回・2022年度
会場入口

新型コロナウイルスの魔除け

グラウンドゴルフ

11月に富士宮退福共と交流会、12月に会長杯を行いました。交流会には62名の参加（富士22名）で優勝は富士宮の小山剛、準優勝・中田千敏、三位・蛭川せい子（富士宮）の皆さんでした。富士地区では中田さんの他、15位までの入賞に6名が入りました。

12月に延期となった会長杯は、22名の参加者があり、初めてハンディ制（事務局独断）で行いました。優勝は太田章、準優勝・林弘子、三位・鳥居弘子の皆さんでした。ハンディによる精査に手間取り、四位以下を全員入賞としました。

交流会・優勝者と上位入賞

会長杯の入賞者の皆さん

こども食堂・訪問

ライフサポートセンター友の会・退福協による福祉活動の一環として、支援している《こども食堂》に一昨年、初めて富士地区退福共は訪問しました。

今年度は11月13日に「ゆめ・まち・ねっと」に、平井事務局長・大竹幹事・山田労金副支店長が訪問、15日にはもう一ケのこども食堂「フラワー」に平井事務局長・山田労金副支店長が訪問して、其々に三万円の寄付をしました。

両施設ともに、行政の踏込み不足面を補うような運営・活動をしています。

市内には20箇所の《こども食堂》があり、地域・ボランテァ・篤志家等が運営・援助をしています。最近は、こどもだけでなく、若者の集まり又は高齢者も対象にした活動になっています。

富士退福共は《新型コロナウイルス》禍により総会が中止になりましたが従来、総会後の懇親会席上で『富士明るい社会づくりの会』が推進している『新一年生へ黄色い帽子を贈る』活動に賛同し募金を募り、過去には同会より感謝状を戴いています。

又、食糧難民を支援活動をしている『フードバンクふじのくに』にグリーン友の会とともに賛助会員として出資加盟をしています。

この様な社会福祉活動を今後も継続していきます。

《思い出》と《想い出》コラム

9月に吉井良雄顧問が、九十六歳でご逝去されました。

吉井さんは富士地区退福共の会長を始め永きに亘って役員を務められました。ご高齢になっても各種行事に参加され、特に文化祭には趣味の『絵手紙・五行歌』等を毎年出展して戴きました。

共済会だより2023年新年号の原稿をお願いにご自宅に伺った時、よく整理された部屋でお独りで暮らしているのを見てお人柄がうかがえました。

又、吉井さんは、富士市グラウンドゴルフ協会の設立者としてご尽力され、その後も協会の発展に貢献されて会長も長期にに亘って務めれました。

吉井さんの他に今年4月から12月までに5名の方が亡くられています。

ご逝去された方々に、ご冥福をお祈りいたします。

会同好会のお知らせ

《グラウンドゴルフ》
3月18日（水）年度末月例会

《ボウリング大会》
開　催　2月16日（月）
場　所　ラウンドワン

《歩こう会》
開　催　3月下旬⇒4月上旬
行き先・　身延沿線・南部の桜

編集後記あれこれ

昨年は、『昭和百年』・『戦後八十年』とマスコミ関係者が騒いでいました。何かとても良い事がある様に感じましたが、皆さんは、国民はどうでしたか？

令和の米騒動やトランプ大統領の関税措置問題等に石破政権はそれなりに成果が出ていたが、支持率は下がり一年程で退陣し、女性初となる高市総理が誕生し、高支持率でスタートしたが、米騒動では農水大臣が三人も変わり物価高もあり、農業（特にコメ）は政策が定まらない事からノー政と言われる所以ですか？

高市新総理の発言で『台湾有事』・『政治献金』と『議員定数削減』絡みの発言が話題となっているが、この問題解決に期待をしたいところです。

令和七年度の流行語大賞に《働いて働いて働いて働いてまいります／高市首相》が年間大賞に選ばれました。

令和八年の干支は《午》です。60年に一度の《丙午》となります。十干（甲乙丙丁戊己庚辛壬癸）十二支（子丑寅卯辰己午未申酉戌亥）の組合わせからなるようです。※【古代中国の陰陽五行説】より《午》は、南の方角や、太陽が一番高く昇る正午を象徴する十二支でもあるため縁起が良いとされます。又、丙午の年は、陽と火の力が重なると云われています。

※左馬・・《うま》を左右反対に読むと《まう》で《舞い》は神様に捧げる神事です。《舞い》が奉納されるのはお目出たい席が多く、縁起物とされています。

※駒は天童市の伝統工芸品です。

【編集委員一同】